

令和6年 自己評価結果

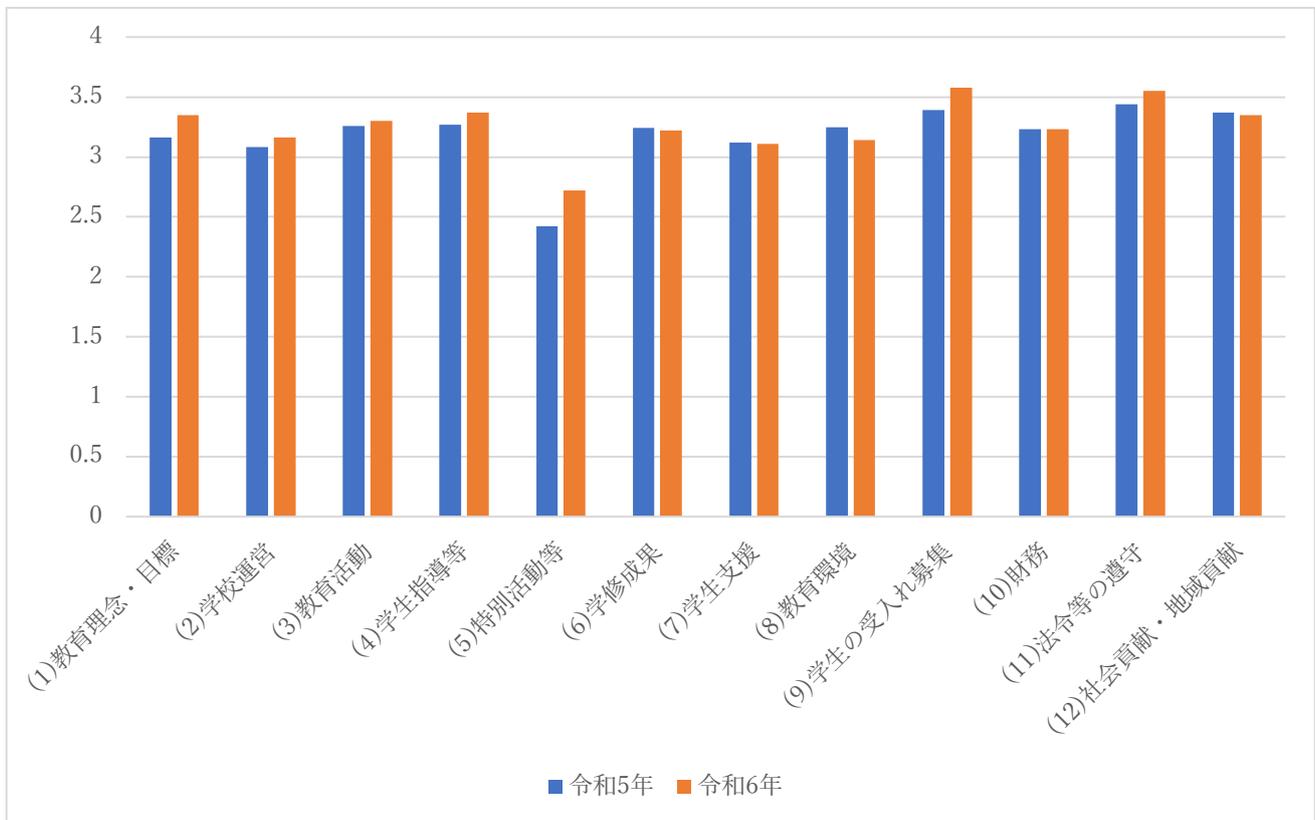
【大項目評価結果】

評価は4段階〔4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切〕。( )内は前年の結果。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
教育理念 目標	学校運営	教育活動	学生指導等	特別活動等	学修成果
3.35 (3.16)	3.16 (3.08)	3.30 (3.26)	3.37 (3.27)	2.72 (2.42)	3.22 (3.24)

(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
学生支援	教育環境	学生の 受入れ募集	財務	法令等の遵守	社会貢献 地域貢献
3.11 (3.12)	3.14 (3.25)	3.58 (3.39)	3.23 (3.23)	3.55 (3.44)	3.35 (3.37)

自己評価アンケート調査 2024年12月実施、教職員31名/29名(回収率93.5%)



【小項目評価結果と自由記述のまとめ】

評価は4段階〔4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切〕。( )内は前年の結果。

(1) 教育理念・目標 【3.35(3.16)／4.0】

評価項目	平均
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	3.60(3.30)
② 学校における職業教育その他の教育指導等の特色は適切か。	3.53(3.39)
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.25(2.97)
④ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	3.00(2.88)
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.36(3.24)

〔自由記述のまとめ〕

2024年は、建学の精神、教育理念、教育目標、教育方針、アドミッションポリシー（入学者の受け入れ基本方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、ディプロマポリシー（卒業までに身につける能力、卒業認定の方針）を追加修正し、HP上で情報公開しています。昨今の少子化の影響を受け、多様な背景を持つ学生の入学も促進されていますが、より豊かな学びの場を創出したいと考えています。ただし、学生の個別ニーズに対応する必要性は高まっており、特別な支援を必要とする学生に対するサポート体制の強化は喫緊の課題です。

保護者とのコミュニケーションについては、一部の学科でオンライン説明会を試みました。多様な方法で保護者の皆様ともコミュニケーション強化ができるように、さらなる努力を続けてまいります。

(2) 学校運営 【3.16(3.08)／4.0】

評価項目	平均
① 目的等に沿った指導方針が策定されているか。	3.37(3.30)
② 指導方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.24(3.12)
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか。	3.05(2.91)
④ 就業、給与に関する規程等は整備されているか。	2.91(3.03)
⑤ 教務・事務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか。	2.91(2.85)
⑥ 業界や地域社会等に対する法令遵守がなされているか。	3.50(3.39)
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.41(3.09)
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.84(2.91)

〔自由記述のまとめ〕

組織の効率化に向け、新たなシステムの導入や業務フローの見直しなど、積極的に取り組んでいます。特に、PortalSiteの導入により、業務の円滑化が大幅に進み、職員の働き方改革にも繋がっています。一方で、一部の業務においては、従来のやり方に固執している部分もあり、より迅速な意思決定と、組織全

体の目標達成に向けて、さらなる改善が必要だと考えています。雇用契約の整備など、課題は残っていますが、これらを一つひとつ解決していくことで、組織全体の透明性と信頼性を高めていきます。今後も、職員一人ひとりの意見を聞きながら、組織のビジョンを共有し、より良い未来に向かって進んでいきます。

### (3) 教育活動 【3.30(3.26)/4.0】

評価項目	平均
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.39(3.27)
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.42(3.45)
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.44(3.30)
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか。	3.22(3.21)
⑤ 関連分野の施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3.37(3.21)
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（見学実習・評価実習・総合臨床実習等）が体系的に位置づけられているか。	3.66(3.61)
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3.43(3.45)
⑧ 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3.29(3.39)
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.40(3.30)
⑩ 資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.48(3.39)
⑪ 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3.20(3.33)
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（専任・非常勤含む）を確保する等マネジメントが行われているか。	3.05(3.06)
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取り組みが行われているか。	3.03(2.97)
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	2.87(2.64)

#### 〔自由記述のまとめ〕

本校では、教職員の専門性向上を目指し、積極的に研修に取り組んでいます。特に、12月には羽村特別支援学校の佐治先生、飛鳥未来きずな高校の横山先生をお招きし、教育支援に関する貴重な講義を実施いたしました。これらの研修を通して、教職員の教育に対する意識がますます高まり、多様な学生への対応力も向上しつつあります。

現在、多様な学生が入学していることを背景に、個々の学生に合わせたきめ細やかな指導体制の構築が求められています。この課題に対し、教職員一同、さらなる研鑽を積み重ね、すべての学生が安心して学べる環境づくりを目指しています。また、法人内の医療関係者との連携を強化し、授業への参画や指導を行っている点も大きな強みです。これにより、学生へのよりきめ細かいサポート体制が実現されつつあります。今後も、教職員の能力開発を積極的に支援し、質の高い教育を提供することで、社会に貢献できる

人材育成に努めてまいります。

(4) 学生指導等 【3.37(3.27)/4.0】

評価項目	平均
① 基本的な生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	3.20(2.97)
② 学生の安全管理のための取り組み等（傷害保険、カウンセリング、発達障がいのある学生等への支援等）が行われているか。	3.46(3.36)
③ 学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	3.34(3.27)
④ 進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	3.48(3.48)

〔自由記述のまとめ〕

本校では、学生が主体的に生活習慣を身につけるよう、多様な機会を提供しています。学生たちは、自身の成長に向けて積極的に取り組んでおり、自立心を育てています。発達障害のある学生に対する支援体制については、今後さらに充実させていく予定です。現在、カウンセリング担当教員を常勤で配置しており、心のサポート体制は整っています。今後は、学生の個々のニーズに合わせたきめ細やかな支援を提供できるよう、より充実したサポート体制を構築してまいります。

(5) 特別活動等 【2.72(2.42)/4.0】

評価項目	平均
① クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか。	2.60(2.18)
② スポーツ大会、文化祭等を推進しているか。	2.85(2.67)

〔自由記述のまとめ〕

2024年度は、総合体育館でのスポーツ大会や、地域住民の方々にもご協力いただいた文化祭「タマハク」を盛況のうちに開催することができました。特に、文化祭では、飲食販売や障がい者施設からの出品、留学生をテーマにした映画上映など、多様な企画を実施し、幅広い世代の方々楽しんでいただきました。これらの経験を活かし、今後も地域との連携を深め、より魅力的な学校行事へと発展させていきます。現在、学生の自主性に任せる形でのクラブ活動運営を行っています。現状では、学生からの活動申請がなく、十分に活動ができていない状況です。今後は、学生の声を積極的に聞き、彼らの希望を把握することで、より充実したクラブ活動の実現を目指します。

(6) 学修成果 【3.22(3.24)/4.0】

評価項目	平均
① 就職率の向上が図られているか。	3.54(3.55)
② 資格取得率の向上が図られているか。	3.60(3.52)
③ 退学率の低減が図られているか。	3.22(3.48)
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.84(2.70)
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.89(2.94)

〔自由記述のまとめ〕

2024年2月に実施された国家試験の結果は、本校の各学科とも高い合格率を記録しました。

- ・作業療法学科：87.5%（前年比±0、全国平均比+3.1%）
- ・理学療法学科：100%（前年比+7.5%、全国平均比+10.8%）
- ・言語聴覚学科：85.2%（前年比-0.5%、全国平均比+12.8%）
- ・介護福祉学科：全体で73.1%（全国養成校平均比+1.6%）となり、日本人学生は91.7%と高い合格率を維持しました。特に、理学療法学科は100%という高い合格率を達成し、全国平均を大きく上回りました。本校では、学生一人ひとりの個性や能力を尊重し、きめ細やかな指導を行っています。定期的な面談の実施や、個別指導など、学生の状況に応じた支援体制を構築することで、退学率の軽減に努めています。しかしながら、学力だけでなく、様々な背景を持つ学生に対して、十分な支援を行えているかという点については、今後も検討していく必要があると考えています。

(7) 学生支援 【3.11(3.12)/4.0】

評価項目	平均
① 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.52(3.58)
② 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3.16(3.27)
③ 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.78(2.73)
④ 学生の生活環境への支援は行われているか。	2.97(3.06)
⑤ 保護者と適切に連携しているか。	3.26(3.15)
⑥ 卒業生への支援体制はあるか。	3.14(3.18)
⑦ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.13(3.06)
⑧ 高等学校・大学等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	2.99(2.91)

〔自由記述のまとめ〕

本学の言語聴覚学科と介護福祉学科では、東京都産業労働局（ハローワーク）の委託を受け、より専門性の高い人材育成を目指した新たなプログラムを2025年度入学生より実施します。このプログラムは、言語聴覚学科15名、介護福祉学科7名の学生を対象としており、それぞれの分野の専門性をさらに深めるためのカリキュラムが組まれています。

理学療法学科と作業療法学科については、東京都立青梅看護専門学校と多職種連携のグループワークを開催しています。また、学生の学習状況について、定期的な試験の結果や出席状況に基づき、保護者への電話連絡や保護者会を開催するなど、密な連携を図っています。

これらの取り組みを通じて、学生の学習意欲を高め、より良い学習成果につなげています。

(8) 教育環境 【3.14(3.25)/4.0】

評価項目	平均
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2.94(3.12)
② 実習施設について十分な教育体制を整備しているか。	3.28(3.36)
③ 防災に対する体制は整備されているか。	3.21(3.27)

〔自由記述のまとめ〕

2024年3月には、学院ホール1階のトイレを改修し、より快適な環境を整えました。また、教育環境の充実を図るため、補聴器、人工内耳マッピングシステム、舌圧測定器、フレンチェル眼鏡、騒音計、耳音響放射検査装置など、最新の機器を導入しました。これらの機器は、より実践的な学習を可能にし、学生たちの学びをサポートします。

防災対策として、2025年1月には避難訓練の実施を予定しています。万が一の事態に備え、全職員・学生が安全に避難できるよう、日頃から防災意識を高めていきます。

学科の増加に伴い、授業内容に適した教室の確保が難しい状況も出てきています。今後も、より良い学習環境を提供できるよう、教室配置の最適化などを進めてまいります。

(9) 学生の受入れ募集 【3.58(3.39)/4.0】

評価項目	平均
① 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.64(3.52)
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.46(3.18)
③ 入学金・授業料等の学納金は妥当なものとなっているか。	3.62(3.48)

〔自由記述のまとめ〕

学生募集に関しては、高校訪問、大学訪問、体験会、セミナー、個別見学、SNS、DMなど、多様な方法で積極的に行っています。学費支援・生活支援では、特に住宅サポート制度により、遠方からの学生の入学を促進しています。介護福祉学科の留学生募集は、昨年と比べ、多くの希望者がおり、特にミャンマーからの留学生が増加しています。令和7年度入学募集より、従来のAO入試と一般入試を、総合型選抜入試に一本化し、入試内容を刷新しました。また、インターネット出願を導入し、エントリーシート・個別面接を重視する選考方法へと転換しました。

(10) 財務 【3.23(3.23)/4.0】

評価項目	平均
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3.07(3.09)
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.19(3.18)
③ 財務について会計監査が適正に行われているか。	3.35(3.36)
④ 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.33(3.30)

〔自由記述のまとめ〕

本校の財務状況は、健全な状態を維持しております。理事会・評議員会において、定期的に財務報告を行い、透明性を確保しております。また、教職員向けには、業務報告会で財務状況を詳細に説明し、理解を深めてもらうよう努めています。財務諸表は、ホームページ上で公開しており、どなたでもご確認いただけます。これらの取り組みを通じて、学校運営の安定化に努めております。

(11) 法令等の遵守 【3.55(3.44)/4.0】

評価項目	平均
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.68(3.61)
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.42(3.27)

〔自由記述のまとめ〕

本校では、学生の成績や出席状況を専用のシステム「インフォクリッパー」で厳重に管理しており、高いセキュリティレベルを確保しています。また、学生一人ひとりに専用の G メールアドレスを発行し、プライベートな情報との混同を防いでいます。これらの取り組みにより、学生の個人情報が外部に漏洩するリスクは極めて低いと考えています。一部、紙媒体での管理が残っており、職員間の情報共有方法が十分でない点などが課題として挙げられます。今後も、定期的なシステムの点検やセキュリティ対策の強化を行い、学生の個人情報をしっかりと保護していきます。

(12) 社会貢献・地域貢献 【3.35(3.37)/4.0】

評価項目	平均
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.48(3.52)
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3.05(3.03)
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	3.53(3.58)

〔自由記述のまとめ〕

本校では、地域社会の一員として、積極的に地域貢献活動に取り組んでいます。自治体や福祉団体など、様々な機関からの協力依頼に応じ、教職員が持つ専門性を活かして、地域住民の皆様への貢献を行っています。具体的には、青梅市役所での健康講座や、近隣の高校・専門学校での授業協力、介護福祉士の研修など、多岐にわたる活動を実施しております。地域との連携を深めることで、学生の学びを深めるとともに、地域社会の発展にも貢献できると考えています。